

「学校長式辞」

春とはいえまだまだ冷え込む日も少なくありませんが、このところ、ようやく日差しに春らしい暖かさが感じられるようになりました。この早春の佳き日に、多数のご来賓並びに保護者の皆さまに、卒業式にご参列いただきありがとうございます。

ただいま卒業証書を手にした卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの門出を心からお祝い致します。

6年前に中学1年生として入学したときには、まだあどけなくちょっと頼りない少年たちでしたが、今日、卒業生の皆さんを目の前にすると、この6年間ですっかり成長し逞しく立派な青年になったなど感じます。皆さんの脳裏には、この6年間の思い出が次々に蘇っているのではないのでしょうか。楽しかったこと、辛かったこと、嬉しかったこと、悩んだことなどすべてが、皆さんの成長の糧となったはずです。

さて、皆さんは私が3年前の高校入学式でどんな話をしたか覚えているのでしょうか？

それは、何のために学校に通うのかという問いかけです。そして、この問いに対する私の答えは、“「自分が何者か」ということを知り「自分がどこへ行くのか」を見つけるため。”でした。

「自分が何者か」を知るためには、そもそもなぜ自分が存在するのかということを考えなければなりません。そのためには、人類の誕生、地球や宇宙のことまで考えなければなりません。そして、自分が存在する自然界の法則や、人間としての生物学的な側面だけでなく、人類の文化的な背景や歴史を知る必要があります。学校で学ぶあらゆる科目や事柄が「自分が何者か」を知るということにつながります。そして、その学びの中で、親や兄弟、友人など、皆さんを大切にかけがえのない存在であると思っている人達がいるということに気づいたのでしょうか。自分の存在を支えてくれる人達がいるということにあらためて感謝しましょう。

次に「自分がどこへ行くのか」という問いについてですが、その答えを見つけることはそんなに簡単ではないと実感したはずです。開成祭や体育祭などの学校行事、クラブ活動、アジア研究旅行やカナダ研修など様々な経験が、「自分がどこへ行くのか」を見つけるヒントになったのではないのでしょうか。そして、いろいろなことにチャレンジし、失敗や成功を体験するこ

とで、自分の才能や可能性が見えてきたかも知れません。

皆さんはこの6年間で自分が何者でどこへ行くのかが少しはわかったでしょうか。まだまだこの答えは出ていないでしょう。さらにこの事について考え、答えを求め続けて行かなければなりません。

人間は他の動物とは違い、生まれた時には、自分ひとりで生きていく術を身につけていません。20数年かけて生きていく術を学び身につけていきます。しかし、人間は自分自身について知り自分の生き方を選択することができます。

皆さんは、高校を卒業するにあたり進路について何らかの選択をするはずですが、希望大学へ進学する人もいれば、再チャレンジを選択する人もいるでしょう。そして、さらにその先には、学問を続けるか就職するか、就職するならどのような仕事に就くかなど、様々な選択の機会が待っています。選択することにより「自分がどこへ行くのか」という方向が定まり、自分自身の人生が形作られていきます。

日本には、『職業選択の自由』があります。日本国憲法第22条第1項に「何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する。」とあります。かつては、自分の出自や身分によって、自由に職業を選べない時代もあったのです。世界に目を向けてみると、職業選択の自由どころか学校に行くこともできない子供達がたくさんいます。また、皆さんと同じ年頃で戦場に送り出されている若者も多勢いるのです。

ここにいる皆さんは、自分の夢を選ぶことができる。行動し夢を追求し実現することが可能なのです。目標に向かって努力することを選ぶこともできます。やめることを選ぶこともできます。その選択権は君たちの手中にあるのです。

自分の未来に向けて何を選択するか迷うことがあると思いますが、多めに悩んでください。何かを選択し努力を続けた先にあるものを思い描いてください。それが、皆さんの幸福につながるものであり、そして少しでも社会の幸福につながるものであってほしいと思います。

ところで、1ヶ月後の4月からは、環境が変わり新しい生活が始まります。新生活に対する不安もあるでしょうが、このようなときこそ飛躍のチャンスであり自分を変えるチャンスです。この1ヶ月を漠然と過ごすのはもったいないことです。何かをしてもしなくても、30日間は過ぎて行きます。

そこで、皆さんに提案があります。明日からの30日間、毎日何かをし続けませんか。ずっとするつもりでいたこと。したいと思っているのになかなかやれないことはありませんか。自

分にプラスになりそうなことで、あまりハードルが高くないもの。少し頑張れば継続できそうなものでも構いません。毎日日記を書く。読書をする。新聞の社説を読む。楽器の練習をする。毎日走る。ダイエットでもいいでしょう。とにかく、何かを30日間続けてみましょう。30日間というのは、新しい習慣を身につけるのにはちょうど良い長さです。30日間続けることで何か目に見えてわかる成果が得られるはずですが、また、続けられたということが自信にもなるでしょう。新生活に役に立つものであれば尚更です。自分が何かを成し遂げたという感覚が大切です。このようにして、少しずつステップを踏んで自分自身の目標に近づいて行ってください。

逗子開成の教育の原点は、校名の由来ともなっている「開物成務」にあります。これは“人間性を開拓・啓発し、人としての務めをなす。”という意味でした。この「開物成務」の精神に基づき、高い目標を掲げ、困難にあっても挫けることなく、自分の未来を切り開いていってください。そして、皆さん一人ひとりが誰かに必要とされる存在になってほしいと思います。私は、皆さんの卒業するこの逗子開成が、人類の未来に貢献する人材を輩出する学校であってほしいと願っています。皆さんのこれからの健闘を祈っています。

最後になりましたが、卒業生の保護者の皆様。本日はご息のご卒業、本当におめでとうございます。また、今日まで本校の教育活動にご協力、ご理解をいただきありがとうございました。

それでは、268名の卒業生の皆さん一人一人の旅立ちを祝うとともに、これからの活躍を祈り式辞と致します。

卒業おめでとう。

平成27年3月1日
学校法人逗子開成学園 逗子開成高等学校
校長 高橋純